

平成 17 年 11 月 1 日
発行・三重県亀山市議会
編集・市議会編集委員会
三重県亀山市本丸町577
☎(0595)84-5059

URL
<http://www.city.kameyama.mie.jp/gikai/>

かめやま KAMEYAMA 市議会だより



青空お茶まつり



太田コスモス祭り



関地区体育大会



議会の主な動き

※七 月※

- 4日 総務委員会行政視察(高松市・四国中央市・松山市)
- " 教育民生委員会行政視察(蔵市・川口市・厚木市)
- 5日 富山県滑川市議会視察来庁(議会C A T V放送)
- 6日 産業建設委員会行政視察(長野市・小布施町・犬山市)
- 11日 栃木県矢板市議会視察来庁(企業誘致)
- 13日 政治倫理委員会、全員協議会、代表者会議
- " 福井県今立町議会視察来庁(合併関係)
- 14日 北勢五市議会懇話会(四日市市)
- 19日 三重県市議会議長会海外行政視察(28日まで)
- 27日 島根県江津市議会視察来庁(総合保健福祉センター)

※八 月※

- 8日 代表者会議、北勢五市議会合同研修会(四日市市)
- 10日 京都府舞鶴市議会視察来庁(企業誘致)
- 19日 全員協議会
- " 自治会連合会・コミュニティ連絡協議会役員と議員の懇談会
- 22日 政治倫理委員会
- 24日 群馬県安中市議会視察来庁(議会運営)
- 29日 議会運営委員会

※九 月※

- 5日 定例会開会
- 15日 議案質疑
- 20日 一般質問(21日・22日と)
- 26日 産業建設委員会、教育民生委員会
- 27日 総務委員会
- 28日 決算特別委員会(29日と)
- 30日 定例会本会議

平成十七年九月定例会は、五日に招集され、十月三日までの二十九日間の会期で開催しました。開会日には、市政及び教育行政についての現況報告があり、その後、議案三十一件、報告四件が上程され、提案理由の説明が行われました。

そして、十六日には議案質疑を、二十日から二十二日の三日間は、市政に関する一般質問を行いました。また議案のうち、平成十六年度の旧市町及び新市の一般会計、各特別会計と企業会計決算の認定議案については、委員十五名で構成する決算特別委員会に、その審査を付託しました。そして他の議案についても、それぞれ所管の常任委員会へ付託しました。

十月三日の最終日には、各議案について、決算特別委員会委員長並びに各常任委員会委員長から審査報告を受け、原案のとおり可決、認定、承認等することに決しました。

議案質疑・一般質問

発言通告の要旨

九月定例会に、各議員から通告があった議案質疑、一般質問の内容(要旨)は、次のとおりです。

※掲載は質問順、《 》は所属会派

議案質疑

水野雪男 《親和会》

●議案第七十九号亀山市民間賃貸共同住宅新築促進条例の一部改正について

1現状におけるアパート数とその中のワンルームマンション数、さらに同条例の奨励措置を講じた戸数の実態を聞く

2アパートに類する建築確認申請の状況と今後の見通し

は
3平成十五年度以降この条例に該当する民間賃貸共同住宅への入居者数と当市の人口増加との関係はどうなっているのか

●議案第百五号亀山市民宿舎事業会計決算の認定について

1この事業が経常損失となつた主とした理由と経営努力をどうしてきたのか

2十五年度に比較して、十六年度は極端に収支比率が悪化した主たる理由は

櫻井清蔵 《関和会》

3関ロτζジの収支のペイラインの考え方と健全化のための方策を伺う

●議案第七十六号亀山市職員定数条例の一部改正について

1改正の背景及び趣旨

●議案第八十一号亀山市火災予防条例の一部改正について

1条文中第三十八条の七の、市は、住宅における火災の予防を推進するため、次に掲げる施策の実施に努めるものとする。とあるが具体策を

●議案第八十二号一般会計補正予算(第三号)について

1第二款総務費・第一項総務管理費・第一目一般管理費臨時雇賃金二百十万円

◇九月定例会議案一覧表◇

(議案第〇号↓議〇、報告第△号↓報△)

〇可決した議案

- 議76 亀山市職員定数条例の一部改正について
- 議77 亀山市職員給与条例の一部改正について
- 議78 亀山市職員の旅費に関する条例の一部改正について
- 議79 亀山市民間賃貸共同住宅新築促進条例の一部改正について
- 議80 亀山市水防協議会条例及び亀山市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- 議81 亀山市火災予防条例の一部改正について
- 議82 平成十七年度亀山市一般会計補正予算(第三号)について
- 議83 平成十七年度亀山市民健康保険事業特別会計補正予算(第一号)について
- 議84 市道路線の認定について
- 議85 市道路線の変更について
- 議86 平成十六年度旧亀山市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 議87 平成十六年度旧亀山市民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議69 平成十六年度旧関町国民宿舎「関ロτζジ」事業会計決算の認定について
- 議68 平成十六年度旧亀山市病院事業会計決算の認定について
- 議67 平成十六年度旧亀山市工業用水道事業会計決算の認定について
- 議66 平成十六年度旧亀山市老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定について

竹井道男《市民クラブ》

議案第九十七号平成十六年度

度亀山市一般会計歳入歳出決算の認定について

- 1 不用額七億円は多すぎるがどのような理由からか
- 2 旧市町のそれぞれに予定された事業は実施されたのか
- 3 主要施策の成果報告書に取り組みへの課題は記載できないか
- 4 今後の財政運営について

① 財政調整基金の今後の推移について

② 減債基金は必要額がまかなえるのか

③ 不足財源への対応策はあるのか

● 議案第二百二号平成十六年度
亀山市水道事業会計決算の認定について

- 1 通年ベースでの旧市町での収支はどの様に
- 2 四次拡張事業の今後の収支への影響は

● 議案第三百三十三号平成十六年度
亀山市工業用水道事業会計決算の認定について

1 事業収支予測の改訂の考え方について

● 議案第四百四号平成十六年度
亀山市病院事業会計決算の

認定について

1 他会計負担金・出資金の考え方について

- 2 剰余金の処分について
- 3 他会計出資金を留保資金でまかなえないのか

● 議案第二百五号平成十六年度
亀山市国民宿舍事業会計決算の認定について

1 固定資産の増加の影響について

2 今後の損益の状況について

宮崎勝郎《緑風会》

● 議案第七十六号亀山市職員
定数条例一部改正について

1 この改正は年度別に定数改正となつていゝるがなぜなのか

● 議案第七十七号亀山市職員
給与条例の一部改正について

1 現在支給している特殊勤務手当を廃止しようとしているが、今後全部の手当をどうするのか

● 議案第七十八号亀山市職員
の旅費に関する条例の一部改正について

1 現在支給している旅費をなぜ廃止するのか

● 議案第七十九号亀山市民間
賃貸共同住宅新築促進条例

の一部改正について

1 現在実施している民間賃貸共同住宅の新築の状況と今後の見通しはどうか

● 議案第八十二号平成十七年度
亀山市一般会計補正予算(第二号)について

- 1 第二款・総務費の一般管理費について
- 2 第三款・民生費の地域団体支援事業について
- 3 第六款・農林水産業費の森林環境創造事業について
- 4 第十款・教育費の博物館費について

伊藤彦太郎《関和会》

● 議案第七十七号亀山市職員
給与条例の一部改正について

1 一部の特殊勤務手当の廃止であるが、廃止しない特殊勤務手当との違いは何か

● 議案第八十二号平成十七年度
亀山市一般会計補正予算(第二号)について(歳出について)

1 総務費・総務管理費・一般管理費・臨時雇賃金について、嘱託顧問の賃金とのことであるが、金額の根拠は、また勤務の実態は

また勤務の実態は

議 89	平成十六年度旧亀山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議 90	平成十六年度旧亀山市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議 91	平成十六年度旧関町一般会計歳入歳出決算の認定について
議 92	平成十六年度旧関町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議 93	平成十六年度旧関町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
議 94	平成十六年度旧関町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議 95	平成十六年度旧関町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議 96	平成十六年度旧関町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議 97	平成十六年度亀山市一般会計歳入歳出決算の認定について
議 98	平成十六年度亀山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議 99	平成十六年度亀山市老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議 100	平成十六年度亀山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議 101	平成十六年度亀山市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議 102	平成十六年度亀山市水道事業会計決算の認定について
議 103	平成十六年度亀山市工業用水道事業会計決算の認定について
議 104	平成十六年度亀山市病院事業会計決算の認定について
議 105	平成十六年度亀山市国民宿舍事業会計決算の認定について
議 106	平成十六年度三重県亀山市、鈴鹿郡関町老人福祉施設組合歳入歳出決算の認定について
○承認した報告	
報 15	平成十六年度旧亀山市、旧関町及び亀山市の決算に関する附属書類の提出について
報 16	平成十六年度三重県亀山市、鈴鹿郡関町老人福祉施設組合の決算に関する附属書類の提出について

●議案第百四号平成十六年度
亀山市病院事業会計決算の
認定について

1 特殊勤務手当の病院手当、
研究手当の実態は。また研
究手当がある場合、実際ど
のような研究が行われてい
るのか

高西 豊 《市民クラブ》

●議案第七十九号亀山市民間
賃貸共同住宅新築促進条例
の一部改正について

1 奨励金の交付対象期間を三
年間延長とあるが、根拠と
なるものは何か

① 近い将来にシャープ等雇用
の増員があるからなのか

② 市内の県営住宅、市営住宅、
民間の賃貸住宅等の既存住
宅の戸数、入居率を把握し
た上での継続なのか

③ 市長はマニフェストに五万
都市宣言をされている。定
住対策として賃貸をとらえ
ているが、八月二十六日中
日新聞掲載のアイリス町に
おける多数の競売物件（土
地）が出たが、提案をすれ
ば、これを購入、売却をし
て新築住宅者への減税措置
は考えられなかったのか。
けっこう安価であり、新築

住宅こそが定住化へつな
がると思うが

松上 孝 《市民クラブ》

●議案第八十号亀山市水防協
議会条例及び亀山市消防団
員等公務災害補償条例の一
部改正について

1 水防計画の毎年検討の義務
付けとは

2 住民への要旨の公表とは
3 浸水想定区域における円滑
かつ敏速な避難を確保する
ための措置の充実は

●議案第八十一号亀山市火災
予防条例の一部改正につい
て

1 第一条関係（新条例第三十
八条関係）

火災に関する警報発令時に
おいて喫煙を禁止すること
としましたが、市長が指定
した山林原野の区域とは

2 第四条関係（新条例第二章
の二の關係）
住宅用防災機器設置義務と
は（新築と既存住宅）

●報告第十七号専決第三号
専決処分書について

1 請求金額の概要は
2 訴訟の遂行状況は

大井捷夫 《いずれの会派にも属さない》

●議案第八十一号亀山市火災
予防条例の一部改正につい
て

1 住宅用防災機器の普及促進
市民への設置啓発はどう取
り組んでいくのか

2 住宅用防災機器を高齢者世
帯等への設置、管理に市当
局は補助などの様に対応す
るのか

3 住宅新築には建築確認申請
時にチェックされ特定行政
庁等と消防本部との連携、
相互協力により円滑な指導
等が可能と考えるが既存の
住宅の設置状況の把握確認
はどの様に対応するのか

4 住宅用防災機器の設置義務
化のみならず火災予防の啓
発防火指導についてはどう
取り組むのか

●議案第八十二号平成十七年
度亀山市一般会計補正予算
（第二号）について

1 総務費・一般管理費・臨時
雇賃金について
① 顧問の設置目的及び活動の
テリトリー

② 期待される効果と活かし方
③ 新しい亀山づくりを期待す
るが市長のリーダーシップ
を問う

○承認した報告

報17 専決処分した事件の承認について

工場火災により椋川へ流出した重油等の除去作業に係る費用
の損害賠償等請求のため訴えを提起

報18 専決処分した事件の承認について

衆議院議員選挙にかかる費用を補正した報告

服部孝規 《いずれの会派にも属さない》

●議案第七十九号亀山市民間
賃貸共同住宅新築促進条例
の一部改正について

1 提案説明で「定住化を促進
する」とあるが、派遣・請
負の多い現在のよう雇用
形態で、本当に「定住」が
すすむと考えているのか

2 市の住宅政策に対しては、
「民間に任せる」と答弁し
ている。それなのになぜ、
この問題だけは市が関与を
続けるのか

3 新市まちづくり計画の将来
像である「豊かな自然・悠
久の歴史」、「旧東海道の特
色ある都市づくり」と、無
秩序なアパート建設の促進
とは矛盾するのではないか

●議案第八十六号平成十六年
度旧亀山市一般会計歳入歳
出決算及び議案第九十七号
平成十六年度亀山市一般会

計歳入歳出決算の認定につ
いて

1 産業振興奨励金約二億七千
万円が支出されているが、
亀山市産業振興条例の目的
から見て、どのような効果
があったのか

小川久子 《いずれの会派にも属さない》

●議案第七十七号亀山市職員
給与条例の一部改正につい
て

1 現在支給されている特殊勤
務手当を見直し税務手当を
廃止する改正であるが、こ
れまで支給されるに至った
理由と今回廃止に至った理
由は何か

2 危険及び不快手当、特殊手
当及び病院手当の一部廃止
についても、支給の理由及
び廃止の理由は何か

3 この廃止について、職員組
合との話し合いはなされた
のか。又、廃止による仕事

への影響はないのか

- 議案第八十二号平成十七年度亀山市一般会計補正予算のうち、総務費（臨時雇賃金）について

1 顧問をおくことにより、市政にどのような効果があるのか

2 なぜ市の顧問という重要な役職を「臨時職員」として雇用するのか

3 合併の目的で主張された、行政のスリム化、経費の削減と矛盾するのではないのか

一般質問

宮村和典 《緑風会》

- 過去一年間の一般質問における検証について

1 児童・生徒の登下校の安全確保で提案したことその後の取り組みを問う（十二月定例会）

2 亀山駅前の駐車場の活用方法を提案したことその後の取り組みを問う（十二月定例会）

● 森林環境創造事業について

1 森林再生CO₂吸収量確保対策事業と花粉症対策事業

● 電子行政について

をどの様に推進するのか

- 2 受け皿である業務委託先は十分な機能が発揮できるのか
- 3 取り組む二事業の効果は期待できるのか

● 「白鳥の湯」の入湯料について

1 現在の料金を適正と考えるか

2 市内と市外の格差をつける考えは無いのか

宮崎伸夫 《親和会》

- 教育について

1 今までの対策の反省と成果

2 情操教育について

- 亀山の水について

1 涵養水四万トンのメカニズム

2 将来、地下水の利用の考え方

● 農業政策について

1 株式会社への参入について

2 農業に対する補助金について

● 安心・安全の町について

1 災害発生時の対応について

● 住みよい町について

1 町名表示について

前田 稔 《関和会》

● 電子行政について

1 当局の考え方を問う

- 2 現状と課題は何か
- 3 戸籍の電子化の考えはないのか
- 4 施設の予約システムについて
- 5 電子投票について
- 6 電子税納付について

● 関宿温泉について

1 六月以降の進捗状況を問う

2 今後どのように進めていくのか

● 交流の里 坂下まなびの森について

1 当局の考え方、構想を問う

葛西 豊 《市民クラブ》

- 総合計画及び亀山市総合計画策定研究会と亀山市地域活力創生委員会との整合性について尋ねたい

1 総合計画策定にともなうがための研究会及び亀山市地域活力創生委員会なのか

又、メンバー構成はどのような方なのか

2 総合計画は市長のマニフェスト（公約）を導入しての策定と考えるが、所見を聞かしてほしいものです

● 本間に合併してよかったという一市一町の市民のための喜ばれる政治施策への提言

言

- 1 遊ロード三重への提言、観光と福祉を併設したバス路線の考え方について
- 2 森林、観光資源の豊富な関町への温泉の考え方について

● 下水道における宅内排水に対する問題点について

1 公衆用道路が民地であるがために宅内排水が出来ない点について

宮崎勝郎 《緑風会》

- 農業政策について

1 今後の農業振興をどう考えているのか

- バス対策について

1 亀山白子線の廃止に伴い、今後の市内のバス運行をどうするのか

● 教育対策について

1 子どもの教育をよくするために教職員の指導は充分か

● 道路対策について

1 和賀白川線の進捗状況はどうなっているのか

2 亀山白山線の安全対策をどう進めるのか

3 市道と賀線と県道亀山白山線の交差点の改良はどのように考えているのか

水野雪男 《親和会》

- 市営斎場建設事業について
- 1 現状における検討状況を尋ねる

① 用地選定の最終調整

② 設計業務の進捗状況

③ 土木工事、建設工事の計画

2 建設手段としてPFI等の検討はしたか

3 資金計画をどう考えているのか

4 当初計画では十九年二月份開始と聞かすが、それまでのスケジュールを聞く

● 財政の見通しについて

1 十八年度予算編成の基本的な考え方と中期的な財政運営をどうみるのか

2 合併効果をあげるための財政上の力点を何に求めようとするのか

3 財政面からみた行政改革の方向を尋ねる

● 介護保険法改正とその対応について

1 介護認定の実態と施設、在宅介護の状況は

2 今回の改正（10/1改正）で施設介護の本人負担はどの程度増加するのか

3 介護予防のための施策を問う

中村嘉孝《関和会》

●アスベスト（石綿）対策について

1 保育所をはじめ、市の公共施設、学校施設における飛散性アスベスト含有建材の実態調査を行い、結果を公表してはどうか

2 学校を含むすべての市の施設について、非飛散性アスベスト備品等の使用状況の調査について

3 市民にアスベストに関する簡略なパンフレットを作成配布しては

●構造改革特区について

1 構造改革特区制度についての亀山市としての考え方は

2 市として、認定申請を将来的にする意向はあるのか

●加太駐在所の存続について

1 現在、各関係機関に陳情しているが今後の対応は

●国道二十五号線の整備について

1 昨年の台風災害復旧及び道路整備について

●地域活力創生委員会について

1 創生委員会とは具体的にどういった組織なのか

●指定管理者制度導入について

1 制度移行まであと半年という状況下、現在の進捗状況は

●特定事業主行動計画の策定について（次世代育成支援対策推進法）

1 特定事業主行動計画の進捗状況は

●支援費制度によるケアマネー・ジメント業務委託事業について

1 三重県の厚生事業団への委託について具体的な伺いたい

松上 孝《市民クラブ》

●森林環境創造事業について（定例会現況報告から）

1 県の環境林整備の方針変更で何がどのようになるのか

2 森林再生CO₂吸収量確保事業の具体的な内容はどのようなものか

3 花粉症対策事業の具体的な内容はどのようなものか

4 新市になって森林振興対策はどのようなものがあるのか

●亀山市学校教育ビジョン策定について（定例会教育行政現況報告から）

1 策定委員会の構成について

はどのようなものか

2 策定方針での重点テーマはどのようなものか

3 策定のためのアンケート調査はどのようなものか

4 学校教育ビジョンと総合計画策定事業との整合性はどうか

坊野洋昭《緑風会》

●企業誘致について

1 凸版第二工場誘致失敗の原因を問う

●県道亀山関線について
1 現在どのような状況になっているかを問う

矢野英直《関和会》

●亀山市における各スポーツ施設の改良・改善を

●各駅前広場の送迎用の駐停車について

●猿害対策について
●自然を取り戻すという考えのもとに各河川の水をきれいにしようと取り組んでいる団体・組合に補助金を

●亀山市特別職報酬等審議会の答申について市長の考え

片岡武男《市民クラブ》

●六月議会の質問関連で再度

問う

1 地域住民のつながりを強める方法の回答の内、賃貸住宅経営者の確約書提出・完成後の検証・不具合時の改善指導状況について問う

2 公害防止協定締結の回答の内、発表されていない企業名が散見されるが何故か。又、発表されない理由の詳細を問う

●水道関係について問う

1 一般家庭用水道水の市内の圧力分布の現状について問う

2 一般家庭の給水配管で十三時から二十時に申し込み増加の原因を問う

●鈴鹿ナンバー導入後の広域連合について問う

1 鈴鹿ナンバー導入後の排ガス規制について問う

2 広域連合も介護保険主体から消防・医療・教育・行政界の問題解決への今後の展望を問う

伊藤彦太郎《関和会》

●ゴミの減量化について

1 ゴミの減量化について、市としての基本的な考え方はまた、今後の方向性は

2 指定ごみ袋導入事業について

て、導入検討に至った経緯は

●農業施策について

1 市が目指す循環型社会における「農業」の位置付けは

2 市の自給率向上についての考え方は

竹井道男《市民クラブ》

●液晶産業の集積について

1 凸版印刷株の久居市進出についての見解は

2 企業誘致に対して亀山市としてどのような対応を行ってきたのか

3 今後の企業誘致に向けての課題はあるのか

4 スマートインターチェンジの活用へのPRは

●亀山市環境基本計画の推進について

1 基本計画の基軸となるものは何か

2 総合計画への反映はどのような様に行うのか

3 実施計画はいつまでに作成するのか

4 施策と実施計画との関連は

5 年次報告書は作成するのか

6 進行政管理はどこが行うのか

7 なぜ今指定ごみ袋の検討を行っているのか

8 刈草コンポスト施設設置工

事の随意契約について
① 随意契約になった理由について
② どのような工事内容なのか。契約の内容について

増亦 肇 《関和会》

● **アスベストについて**
1 使用されている施設は
2 飛散防止の対策は。撤去はどうするのか

3 石綿管の現状は（場所、長さ）。撤去はどうするのか
● **企業誘致について**
1 凸版が久居に進出したが、テクノヒルズには場所がなかったのか

● **少子化対策について**
1 出産費用補助および子育て支援補助金支給を

● **市民税について**
1 納税者が税の一部を選択する市民団体への支援金として指定できないか

● **文化活動について**
1 東海道宿駅シンポジウムの開催に協力できないか

● **農政について**
1 経営安定化対策の考え方は
2 山間地および耕作放棄地の対策は

● **報酬審議会答申について**
1 答申に対してどのように感じられたか

杉本巳範 《関和会》

● **議員報酬額の考え方について**
1 報酬審議会の答申をうける市長として議員報酬に対する考えは

● **AED（自動体外式除細動器）の設置について**
1 公共施設への設置を

● **桜井清蔵** 《関和会》
● **安心、安全のまちづくりについて**
（平成十七年九月亀山市議会定例会現況報告書 より）

● **小川久子** 《いずれの会派にも属さない》
● **介護保険法の「改正」について**

1 今回の「改正」で十月から利用者の負担増がはじまるが、これまでと比べて何にどれくらいの負担増がでるのか
2 介護保険の適用からはずれた部分は市の福祉行政でやらなければならぬが、市としての施策は考えているのか

3 保険料はどれくらい上がるのか、又現在滞納はどれだけあるのか

● **図書館行政について**
1 図書館行政について、公立図書館の果たす役割は何か
2 移動図書館車の廃止が予定されているが、利用者の声は十分に把握しているのか

3 高齢者や子ども達、交通の便のない利用者に対して、どういった方策をとるのか

● **服部孝規** 《いずれの会派にも属さない》
● **小、中学校への冷房設置について**

1 全国でも県内でも小、中学校への冷房の設置が少しずつすすんでいるが、来年度予算で冷房設置に踏み切る考えはないのか
2 文部科学省の「学校環境衛生の基準」で「学習に望ましい条件は、夏期で二十五度〜二十八度程度」とされているが、小、中学校での実態はどうなのか

● **市内公共施設でのアスベスト対策について**
1 市内の公共施設でアスベストが使用されている施設はあるのか
2 アスベストが使用されている施設に対してどのような対策を講ずるのか

● **平和への取り組みについて**
1 市長の平和への思いを問う
2 市内各地に戦争遺跡が残っている。こうした戦争遺跡を調査し、保存することが必要だと思うが、見解を問う

● **大井捷夫** 《いずれの会派にも属さない》
● **地方分権、推進を受けた新しいまちづくりの取り組みと受け皿について**
1 新しいまちづくりの推進に当たっての基本理念について

2 新たに創設されたまちづくり交付金制度の受け皿をどのように整備していくのか
3 総合計画を策定していく中

● **教育問題について**
1 文部科学省の子ども居場所づくり新プランについて
2 亀山市子ども総合支援室を立ち上げたが、現況と今後の展開について

質疑と答弁

提出議案に対する質疑者とその主な内容は、次のとおりです。
16日 水野雪男、櫻井清蔵、竹井道男、宮崎勝郎
伊藤彦太郎、葛西 豊、松上 孝、大井捷夫
服部孝規、小川久子

議案第79号

亀山市民間賃貸共同住宅新築促進条例の一部改正について

● **問** 条例を改正し、期間を三年間延長しようとするが、従業員は派遣、業務請負が多く、入れかわりが激しいのが実態である。こうした雇用形態で

で、交付金制度を有効活用できる施策をどのように組み立てていくのか

4 地方分権を推進し、確かな対応を進めるために各部門のヨコの連携を図る組織機構改革をどのように進めるのか

5 新しいまちづくりのために立ち上げた「亀山市総合計画審議会」「亀山市地域活力創生委員会」の両組織の整合性、連携を図ってどのような施策を立てていくのか

本当に定住化が推進できるのか。

定住のために、以前から安い住宅の提供として市営住宅の建築を求めてきたが、民間アパートで対応できるとの答弁であった。企業からの求めとなれば、税金を減額してまで推進しようとするが矛盾した対応ではないか、見解を尋ねる。

〔答〕就業者の市内居住率は、操業が開始された平成十六年一月時点で約十九％。本年五月時点では約二十三％まで高まった。奨励金の交付が一定の成果を發揮していることから、引き続き民間賃貸住宅の建築を促進したい。

定住を高めるためには、住環境の整備が急務となっており、建築に対し、市がインセンティブ（意欲刺激・誘因）を与えることが必要と考える。

〔問〕奨励金の交付対象期間を三年間延長する改正であるが、根拠は何か。近い将来にシャープ等雇用の増員があるからか。また市内の民間賃貸住宅等の戸数、入居率を掌握した上での継続なのか。

〔答〕五万都市宣言をし、定住住宅として賃貸をとらえている

が、住宅新築者への減税は考えられなかったのか。

〔答〕シャープを含め市内事業所の事業規模の拡大により、来年度以降も人口増加が見込まれる。

民間の賃貸共同住宅は、市内に二千七百戸余りと把握している。

戸建て住宅の方が定住化に適していることは指摘のとおりである。戸建て住宅の奨励は、今後の人口動向、就業者のニーズを見据えた上で、必要性について検討したい。



建築が進む共同住宅

議案第81号

亀山市火災予防条例の一部改正について

〔問〕今回の改正は、各戸に火災報知器の設置が義務付けられ、条文中に、「市は、住宅における火災の予防を推進するため、次に掲げる施策の実施に努めるものとする」とあるが、どのように各戸につけられるのか具体策を尋ねる。
また、設置に対する補助制度の考えはあるのか。
〔答〕住宅用火災警報器の普及促進の具体策は、広報への掲載、全戸にパンフレットの配布、ケーブルテレビを利用した啓発、また自治会の消防訓練、出前講座を通じての啓発など広く周知に努めたい。
今回の設置義務化は、死者の発生を低減するための最低限の義務付けで、補助制度は考えていない。
〔問〕新築住宅は、建築確認申請時にチェックされるが、特定行政庁等と消防本部との連携相互協力によって指導が可能と考える。既存住宅の設置状況の把握確認はどのように対応されるのか。
〔答〕既存住宅の設置状況の把握は、自治会へ依頼する回答式の住民アンケート調査により実態把握をして、火災予防に努めたいと考えている。

議案第82号

平成十七年度亀山市一般会計補正予算(第三号)について

〔問〕総務費の臨時雇賃金について、新市まちづくり計画を作成するために、地域活力創生委員会がスタートした。この委員会に顧問として、前関町長が就任されるが、今、顧問が果たして必要なのか。市政にどのような効果があるのか。
また、顧問が必要なのかであれば、重要な市の顧問がなぜ臨時職員なのか尋ねる。

〔答〕関町長としての十一年間の経験をまちづくりに生かしていただくため任用したもので、新亀山市の一体感の醸成に大きく寄与していただくと考える。

〔問〕本顧問職は、その職制上、地方公務員法に規定する特別職に該当しない。
職務は、地域活力創生委員会に關することや、公共的団体の統合促進、観光事業の拡大など、一般職とし位置付けることが適切と判断した。

〔問〕教育費、博物館費の一般管理費二百万円は臨時雇賃金の補正であるが、この費目は市

史編さん事業である。合併した関町エリアも含んでいると推測する。
根本的に当初計画に変更が生じていないか尋ねる。

〔答〕職員を補完する形で情報統括員を雇用する補正である。市史編さんなどのIT化を促進するための作業や、館員に対して専門的な知識や技術指導を行い、手腕を發揮すると期待をしている。

議案第97号

平成十六年度亀山市一般会計歳入歳出決算の認定について

〔問〕平成十七年一月十一日に新市となり新しい予算が編成された。予算は二分類されているが、事業としては一年間を通じた事業と考える。旧市町が当初予定した事業でカットされたものがあつたのか。
また、主要施策の成果報告書に、取り組みへの課題の記載は、なぜできなかったのか伺う。

〔答〕当初、予算編成時に取り組むとした事業のうち、一部繰り越しはあつたが、平成十六年度事業はおおむね実施された。

両市町の主要な施策を選択し、事業を実施したので、評価するまでには至らなかった。新市では統一した基準で実施計画を策定しており、事業完了後は成果をチェックし、報告書に反映したい。

議案第104号 平成十六年度亀山市 病院事業会計決算 の認定について

問給与費の手当、特殊勤務手当について、病院に関することでは医療に関する研究・調査に従事したときに支給される研究手当がある。この研究手当の実態は、何名の医師に何カ月分支払われたのか。また、具体的にどのような研究・調査がおこなわれたのか。

答研究手当は、医療に関する研究・調査等に従事した医師に支給され、月額手当で院長二十八万円、医師経験年数に応じ、八万円から二十四万円までを十一人の医師に支給している。

学会への参加や発表したり、診療業務を行う上での性格、また公的病院の医師確保を図る観点も含めた包括的な手当

の性格を有している。



医療センター

議案第105号 平成十六年度亀山市 国民宿舎事業会計決 算の認定について

問ロジの経常損失は、宿泊利用者数が前年度に比較して大幅に落ち込み、年間約千四百万円の赤字を出したが主な理由はなにか。また、こういう事態に対して、どのような経営努力をされたのか尋ねる。

答シャープ関連の工事関係者の宿泊が工事完了に伴い減少したことや、客室の改装工事により全室で宿泊者を確保できなかったことが主な理由で

ある。また市内二カ所にビジネスホテルが建設されたことで、利用者が減り、減収となった。

経営努力は、町並みを訪れる観光客に対しての宣伝、企業への訪問PR、隣接する市町の老人クラブ、婦人会等へのPRを行いながら経常経費等の節減に努めた。

報告第17号 専決処分した事件の 承認について

問二年ほど前に発生した工場火災で、椋川へ油が流出したこの事故処理に要した費用の請求金額三百何万円の概要について、積算根拠を尋ねる。また、訴訟の行方はどうか。

答重油等の除去作業に要した経費は、職員の時間外手当として五十三人三百五十八時間の人件費と、油の吸着マット等の消耗品費が大部分である。

現在の状況は、訴訟に必要な書類を整え、提起の準備をしているところである。

質問と答弁

市政に関する一般質問の質問者とその主な内容は、次のとおりです。

- 20日 宮村和典、宮崎伸夫、前田 稔、葛西 豊
- 21日 宮崎勝郎、水野雪男
- 21日 中村嘉孝、松上 孝、坊野洋昭、矢野英直
- 片岡武男、伊藤彦太郎
- 22日 竹井道男、増亦 肇、杉本巳範、櫻井清蔵
- 小川久子、服部孝規、大井捷夫

農業政策について

問農業も、大企業が参入できるようにになったが、亀山に参入してきたとき、行政はどのように対応するのか。米をつくる企業であれば田の管理はできる。しかし、田を維持することは、企業としては無理と考える。ため池とか、排水路の管理までは企業はしてくれない。

農業を守り、農村を守る対策としてどのように考えるか伺う。

答農業に関する基本構想で特定法人貸付事業に関する事項を定め、また、使用貸借による権利や賃借権の設定に当たっては、法人と地主が協定の締結を行うこととなっている。この中で、役割分担に関する事項として、道路・水路・た

め池等、利用施設の維持管理については、法人が地域の取り決めに遵守し、応分の役割を定め、地域との連携により担っていただく。

今後の農業振興について

問当市では専業農家で頑張っている人もたくさん見えるが、以前から兼業で農家を営んでいる人たちが、定年になってから専ら農業に携わっていくのは非常に難しいと思う。そこで、農業をしたい人の受け皿をどのように考えているのか尋ねる。

答農業の現状は、高齢化の進行とともに耕作放棄地もふえ、農地の維持管理も難しくなりつつある。これから定年を迎える、団塊の世代の退職者が、どのように農業にかかわり、

その環境をどう整えるかが課題である。これらの大きな人的資源が農業の活性化につながるよう、ニーズ調査などの情報収集に努めたい。

循環型社会における農業

問環境・食が見直され、注目を浴びている現代において、ごみからできる堆肥を使って新しい産物を生み出そうとするその農業の姿は、いわゆる循環型社会と言われ、今後非常に重要になっていく。

この循環型社会を見据えた場合、環境面における農業の役割は一体どういうものであるか尋ねる。

答農業の営みは、土を介して人や動植物、自然が活動する場合に生じる雑草、枝葉、ふん尿等の分解を促して、それを肥料にして作物が育ち、またそれを食すという循環サイクルが現代の社会においても継続されるような農業の営みを考えていかなければならない。

企業誘致について

問凸版が久居市に進出するが、第八世代工場の進出の話は市に対してあったのか。

工場が進出するには、いろいろな条件があるかと思うが、会社側は、どういう条件が満たされれば、工場をつくりたいというふうな話だったのか。また、どういう条件が合わずに、市へ誘致できなかったのか理由を尋ねる。

答新工場建設のためには、企業ニーズにこたえるべく、その可能性を強く働きかけてきた。企業の経営戦略上、最新技術を取り入れた工場の誘致



凸版印刷(株)第6世代対応工場の増設

という面においては、残念な結果となった。

第八世代対応工場にふさわしい区画形成や将来にわたる工業用水の確保を含め、短期間に工場を立ち上げることが可能な宅盤がテクノヒルズには存在しなかったことが要因と考える。

文化活動について

問東海道路宿駅シンポジウムの開催申し出に対して、協力できないと返答された。

どのよう、何を検討されたのか。内容は十分把握できたのか。

シンポジウムは、ことしで十八回目が開催される予定で、例年、東海道五十三次から約二百名の参加がある。市の名前が発信できるが、何を発信したいのか伺う。

答平成十八年度の開催及びその支援について要望をいただいたが、本年度開催地における支援状況や事業内容等を視察するなど調査する必要もあり、予算編成前の時期に次年度の支援を約束することは無理と判断した。

開催の趣旨は十分理解するが、熟度不足な面もお断りした要因である。

白鳥の湯の

入湯料について

問一日の入湯者約八百人の現実、ひとえに料金の安さと言っても過言ではない。料金が安ければよいとは必ずしも言えない。市民の福祉向上と健康保持を目的に立ち上げたわけであるが、問題点の解消と並行して、料金設定の見直しを考える時期に来ているのではないか。

答白鳥の湯は、各種の情報誌やインターネットのホームページにおいて、低料金で利用しやすく、毎日でも行きたくなる天然温泉として大きく紹介されている。現在の料金設定は、議論をいたさながらまとめ上がったものであり、波及効果を考えると、適正なものと考えている。

水道水の水圧について

問亀山市は高低差もあり、給水圧力の低いところの方から

は圧力アップの要望を聞くが、使用水量の多い夕食・入浴の時間帯では、市内の圧力分布の現状はどのような状態か伺う。

答水道法に基づく施設基準では、最小動水圧が0・一五メガパスカル以上あればよいとされており、家庭への給水は、大半が配水池施設による自然流下で行っている。したがって、水圧も地形状況により決定するが、水圧が0・一五メガパスカルを下回る地域がないように改良や維持管理を行っている。

下水道事業の

今後の推移について

問公共下水道事業が開始され、総面積の中でかなりの地域が供用開始区域となっているが、いまだに白地で残っているところがある。和田住宅が供用開始区域から外れているが、なぜ接続しないのか尋ねる。

答和田住宅は昭和三十九年から四十一年度に建設された。この古い住宅は、老朽化のために再募集を行っておらず、現在の入居者に対しても住みかえを促進している状況であ

る。総合的に判断して、下水道への接続はしない方向で考えている。

自動体外式除細動器 (AED) の設置について

問近年、心疾患や心筋梗塞などが原因で突然倒れるケースをよく耳にする。心臓が停止したまま五分以上放置すると、脳障害が発生するほか、最悪の場合は死に至る。

一方、使用が限られていた自動体外式除細動器 (AED) が一般の人でも使用できるようになった。人命救助の観点から、市の施設への設置が急務と考えられるが、公共施設への設置を考えているか尋ねる。



自動体外式除細動器 (AED)

答昨年七月一日から、AEDの使用が一般市民にも認められ、消防本部でも、今年度、AEDの訓練用機器を購入した。また、AEDを含めた救命講習を実施しているところで、公共施設への設置は、現在、どこに設置するか検討している。

環境基本計画の推進について

問環境基本計画は、環境の保全及び創造に関する施策を推進するために策定されたが、経過期間は二十年と長期的な視点である。短期的な視点では、何を基軸にこの環境に向けて取り組みを進めるのか。

また、実施計画の策定を義務づけているが、年度ごとの取り組み内容と目標を定めた実施計画をいつまでに策定するのか。一方、実施計画も示されていない中で、先行して指定ごみ袋の検討をする必要性は何か。

答計画の基軸は、環境基本条例に定める基本理念である。その基本理念は四つの項目から成り立ち、これら総合された環境の保全及び創造が基軸

となる。

実施計画は、予算の関係から、本年度分は十月に開催予定の環境審議会で審議し、承認をいただいた上で発効したいと考えている。

指定ごみ袋は、ごみを減量しよう、ごみを出さないという、市民、事業者の排出抑制の意識高揚に資する有効な手段として、導入を検討している。

斎場建設事業について

問斎場建設は、基本構想、基本計画等の各計画や諸手続、土木建築工事、火葬炉工事を経て、平成十九年二月に供用開始が予定されている。

用地選定や設計業務の進捗状況はどうなっているか。建設手続としてPFI手法の検討はしているのか。また供用開始までのスケジュールを尋ねる。

答用地選定は最終調整段階を迎え、今後、基本計画の策定、都市計画決定等の各種手続を行い、各分野における実施設計を行っていききたい。

PFIについては、基本構

想において懸念される点が多く指摘されており、従来の整備手法が適当と考えている。またスタートが当初計画より若干遅れ込んでおり、半年から一年ほどのおくれが予想される。

電子行政について

問電子行政に対しての考え方や取り組み方はどうか、それに対しての現状と課題を聞く。

また、戸籍が電子化されていないが、事務は手作業で行っており、誤記や記載漏れなどの人為的ミスが起こる。負担の少ない事務の確立や窓口の迅速化から必要ではないかと思うが、どうか。

答当市では、二〇〇〇年六月に、旧亀山市で行政情報化構想 (ITプラン) を制定して、行政の情報化に取り組み、平成十六年度には、おおむね計画したシステムが完了した。問題は情報の漏えい、システムのための経費や情報弱者と呼ばれる障害者、高齢者への対策が大きな課題と考えている。

戸籍の電算化については、

二、三年間の移行期間を要し、多額の経費が必要となるが財源等の見通しも考えながら、対処してまいりたい。

川をきれいにしようとする団体への支援について

問平成十七年六月に外来生物法が制定され、ブラックバス、ブルーギル等の駆除もある。その駆除について漁業組合等に委託してはどうか。また、鈴鹿川へアユを放流しているが、ウの被害対策をしている鈴鹿川漁業組合に補助金的なものを交付できないか。

答鈴鹿川漁業組合では、放流した稚鮎がウの被害に遭うというところで、ロープ等を設置し、被害防止対策を講じられている。外来魚の駆除対策も含めて漁業組合と相談し、対策及び支援の方法を検討したい。なお、補助金は、市の事業を進めるに当たり、市民活動団体と協働して進める必要がある場合に交付している。

加太駐在所の

存続について

問安全・安心なまちづくりと

いった面からも、駐在所の存続自体が事故や事件の抑止力になっている。一日に六万台以上もの車両が通行する名阪国道沿いの治安維持のためにも、加太駐在所の存続に向けて力を借りたいがどのように考えているか伺う。

〔答〕県警本部では、現在の犯罪状況から、駐在所の統廃合はやむを得ないことで、加太駐在所の廃止後、関交番を充実し、治安の強化を図っていくと伺った。市としては、治安を強化していただくために、亀山警察署全体の体制強化を強く申し入れた。

総合計画策定研究会と地域活力創生委員会との整合性

〔問〕総合計画及び亀山市総合計画策定研究会と亀山市地域活力創生委員会との整合性について、総合計画策定に伴うがための研究会及び亀山市地域活力創生委員会なのか。また、メンバー構成はどのようなになっているのか伺う。

〔答〕策定研究会には、基本構想、前期基本計画の素案作成やタウンミーティングへの派遣などを担っていた。委員は、

三重大学の教職員十名、三重短期大学の教員一名のほか、庁内委員三名の、十四名である。

一方、地域活力創生委員会とは地域審議会にかわる組織として設置するもので、地域の一体感を醸成する事業や、均衡ある施策について意見を集約し、市長に提言を行う組織である。委員は十六名で、公募五名、各種団体から十名と三重大学の教授一名である。提言は、総合計画策定の中に、その方向性を反映したいと考えている。

新しいまちづくりについて

〔問〕地方分権の推進、三位一体の改革により、国は各種事業の補助金制度を廃止し、各庁間の垣根を越えた施設整備のハード事業から、社会実験に至るまで含めたソフト事業をパッケージ化したまちづくり交付金に移行していく方針である。この新設されたまちづくり交付金制度の受け皿をどのように整備していくのか聞か。

〔答〕総合計画を策定する中で、

公共施設を含む都市基盤の整備について、まちづくり交付金交付要綱で規定する対象事業に該当するか検討し、交付金の活用に努めたいと考える。

図書館行政について

〔問〕図書館まで、交通の便がなくて行けない方や子供の小さい方などにとって、家の近くまで来てくれる移動図書館車は、長い歴史の中で喜ばれ役立ってきた。図書館車が廃止される予定と聞か、利用している方たちの声は十分に把握しているのか。



移動図書館「わかば号」

〔答〕利用者も年々減少し、決して効率のよい業務になっていない。十六年六月定例会で、移動図書館は、車両の老朽化も進んでいることや、利用者の実態を踏まえ、新たなサービスを構築すると答えている。また、合併協議会においても、従来なかった手段で利用いただけるサービスの仕組みをつくっていくとしている。

小、中学校への冷房設置について

〔問〕地球温暖化の影響なのか、夏が暑く感じられ、今では、どこへ行っても冷房設備は当たり前前で、大人が利用する屋内施設で冷房施設のないところは少ない。最近、全国的にも県内でも、小・中学校に冷房を設置する自治体が増えてきているが、来年度予算で冷房設置に踏み切る考えはないのか尋ねる。

〔答〕空調機の設置は、従来から設置している会議室に加え、平成十四年度から十五年度の二カ年で校長室、職員室、パソコン教室、保健室にそれぞれ設置し、平成十六年度に図書室に設置したところである。

普通教室への空調機の設置は、国・県の方向性を十分見きわめ考えていきたい。

学校教育ビジョンの策定について

〔問〕策定方針での重点テーマはどのようなものか。学校、家庭、地域の中で、教育環境はモラルハザードの洪水の中に翻弄されているとさえ思う。今までは考えられないことが報じられ続けている。そこで、策定の重点テーマとして教育委員会の取り上げる主なテーマは何か尋ねる。

〔答〕重点テーマは、「個が生きる活力のある教育」「温かい心をはぐくむ教育」「未来を開く環境教育」、この三つの枠を想定している。今後のアンケート調査の分析や検討委員会等での論議を踏まえて焦点化をしていくことになる。その中で、特色とか、教育が直面する課題なども大きな論点としたい。

第三十三回

三重県市議会議長会海外行政視察報告

デンマーク・ドイツ・スイス（7/19～28）

夏雲の流れる果ての

ヨーロッパ

松上 孝

視察国の欧州三国では、日本の新涼から初秋の気候を先取りした陽気の十日間と一八時間の時差、そしてヨーロッパまでの距離を検証しました。

最初の訪問国、デンマーク王国は、面積四・三万平方キロ（九州とほぼ同じ）、人口五百三十八万人、首都コペンハーゲン、議合一院制で一七九議席、在留邦人数千二百五十九人のプロフィールを持つ。

この国での視察テーマは、社会福祉政策を基調にコペンハーゲン市（人口五十万人）の老人福祉施設及び児童福祉施設でした。とりわけ第二次世界大戦後の女性の社会進出度は世界一でありながら、子どもの出生率は一・九人から二・〇人であり、老人一人に對し〇・九人の介護人である。デンマークには寝たきり老人がいてはならないとする基本

理念があり、又五十年の歴史を持つユースハウス（若者の家）の民設公営の法人等、いわゆる高福祉高負担型の施策に見るべきものがありました。

次は、ドイツ連邦共和国で、面積三十五・七万平方キロ（日本の約九四%）、人口八千二百五十四万人、首都ベルリン、議会二院制、連邦議会六十一議席、連邦参議院六十九議席、在留邦人数二万七千八百十人。



フランクフルト市議会

視察は、マインツ市清掃局の廃棄物処理センター、フライブルグ市の環境保全局のビデオを交えた講和の後、エコステーション、環境有限会社と、精力的に行動を続けました。とりわけ環境保全局の施策の中で交通対策は、①車の利用制限で快適な生活空間の確保を目指すもの（住宅地域速度三十キロ）②公共交通機関の奨励（地域環境定期券システムと特に市電の路面線化等ユニークな発想）③自転車の奨励策（専用道百六十六キロ整備・自転車置場の整備等）の対策に関心を寄せました。

社会福祉国家を尋ねて

竹井 道男

デンマーク、ドイツ、スイスの三カ国を訪問し、福祉、教育、環境、農業の各分野について研修や視察を行いました。視察の中で特に感じた点について報告を致します。

デンマークでの福祉政策のレクチャーでは、生まれて死ぬまでの国民の面倒を社会が面倒をみる仕組みにし、家族が面倒を見ることから切り離しをしてきました。この背景

としては、第二次大戦後の女性の社会進出があり、現在は七十五～八十五%の女性が社会に進出し世界一の水準。女性の社会進出で福祉政策の変更を行い、社会が個人を守る社会を作り上げてきたとのこと。出生率も高く一・九～二・〇人。このようなことから、所得税五十%、消費税二十五%と高い税負担によって社会保障が賄われているとのことでした。

ドイツでの、フライブルグ市の環境政策のレクチャーでは、人間が自然と共生するエコポリスの実現に向けて環境行政が進められ、このことが大学を始め、数多くの市民の環境関係機関の活動にもつながってきているとのこと。大きくは五つの政策、交通、都市、ゴミ、エネルギー、森林への対策の取り組みを進めています。ゴミについては、亀山市では溶融炉の導入により最終処分場の必要はなくなりましたが、究極的にはゴミを出さないという取り組みは、共通する課題でもあり今後の参考となりました。

今回各国を訪問し、一貫して話されたことは個人の自立



デンマーク教育施設「若者の家」施設長

という事でした。これまで福祉という行政や施設に依存して、相手が何かを行ってくれるものという印象がありましたが、まず自分自身が自覚し、相手に頼ることなく、自立した生活をどう構築するかが大変大事な視点と感じました。日本でも今後高齢化社会を迎えてきます。年金制度も含め社会が個人をどう保障し、その為には税負担も含めて、国民がどのような負担をしていくのか、そしてすべてを任せるのではなく、どのように自立した人生を過ごしていくかを真剣に検討する時期がきているのではとの印象を持った。非常に有意義な視察でありました。

**各常任委員会が
先進地を視察**

総務委員会

(七月四日～六日)

高松市における

電子申請サービスなど

平成十五年度に香川県及び県内全市町が参加して、共同で電子申請システムを検討し、十六年度に「かがわ電子自治体システム」の整備が行われました。

高松市は構築に参加する中で、平成十六年十月から電子申請を開始し、インターネットにより住民票の写しや納税証明書の交付などサービスを開始しました。特徴は、二十四時間申請手続きが可能であるとのことでした。



高松市会議室にて

愛媛県四国中央市は、平成十六年四月一日、二市一町一村が新設合併して誕生しました。

そして、合併特例法に基づき地域審議会が、新市の二つの地域に設置され、現在、市では自治基本条例検討委員会を立ち上げ検討されています。

愛媛県松山市は、昭和五十一年に汎用コンピュータを導入して以来、数多くのシステムを構築して情報化推進アクションプランⅡが策定されていました。このプランは、電子市役所の構築に向けた基盤整備を目指したもので、情報通信技術や市民ニーズに即応するため策定されました。

教育民生委員会

(七月四日～六日)

藤市の合宿通学事業など

埼玉県藤市は、平成十三年度より、小学校四年生から六年生までの生徒が地区公民館で六泊七日生活する合宿通学事業を行っています。

子どもたちが、親元から離れ、異年齢での共同生活や地域での体験活動をしながら通学し、家庭の大切さや親のあ

りがたさを理解し、子どもどうしのふれあいや大人とのコミュニケーションの中から、人間関係を深め「生きる力」を育むことを目的に行われていました。

埼玉県川口市は、市内小・中学校(七十一校)のすべてが完全給食を実施し、そのうちセンター調理方式が五十一校、自校調理が二十校でした。

学校給食の運営にあたり、学校長を委員長に、給食主任、栄養士、教育委員会の関係者で組織する献立委員会を毎月開催し、「食」に関する指導、献立内容の充実、安全衛生管理の徹底が図られていました。



厚木市総合福祉センター前にて

神奈川県厚木市は、総合福祉センター内に子育て支援センターが設置され、育児不安

等の相談指導や保護者・児童に対する支援体制が整備されていました。また、ファミリー・サポート・センターも設置され、育児援助を受けたい者が行いたい者からなる会員組織で保育施設への迎え、預かりなど援助活動する事業が行われていました。

産業建設委員会

(七月六日～八日)

長野市国民宿舎「松代荘」

温泉施設など

長野市の国民宿舎「松代荘」の温泉施設について、温泉掘削から活用までの経緯の説明を受けました。

泉質は、鉄分、ナトリウム、カリウム、塩化物等を多く含み、また鉄分が多いため黄褐色でありました。問題点は、ナトリウム成分が管に付着し、年二回の清掃が必要とのことでした。

関地区で温泉掘削した成分によく似ていることから、温泉活用について参考になりました。

長野県上高井郡小布施町地内の上越自動車道小布施パーキングエリアで社会実験中のスマートインターチェンジを



国民宿舎「松代荘」前にて

視察しました。実験は本年四月から八月末までとし、須坂長野東ICと信州中野ICとの中間点に位置することから、町内、近隣町村からの通勤等に時間短縮になり、とても好評であるとのことでした。利用者をややすため、ETC車載器購入補助を行っています。

愛知県犬山市では、空き店舗等の有効利用を図り、活力とにぎわいのあるまちづくりを推進するため補助金制度を創設しました。

補助の対象となる店舗は、道路に面した一階部分に限定し、賃借料五十万円、改装費百万円を限度に補助金が交付されていました。